

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
<p>武庫川女子大学社会情報学部社会情報学科では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次の資質・能力を身につけた者に対して、卒業を認定し学士（社会情報学）の学位を授与します。</p>			<p>武庫川女子大学社会情報学部社会情報学科では、本学科の定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本学科のカリキュラムでは、以下に示す科目分類を設け、体系的かつバランスのとれた教育課程を編成し、個々の授業を通じて学生の資質・能力を高めます。</p> <p>1. 共通教育科目 幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、心の豊かな人間性の涵養を図ることを目的とした全学共通教育科目を、学生は自らの選択のもと、主体的に学びます。また、総合大学の特長を活かし、様々な専門分野を背景に持つ学生同士が、答えの無い課題に取り組む授業を展開します。</p> <p>2. 基礎教育科目 専門教育への導入的役割を担う授業を開講します。全学的に実施している「初期演習」では、学生が主体的に学び、実践する姿勢を身につける他、学生相互の豊かで円滑な人間関係の基礎を養います。「初期演習」以外の科目では、専門分野の学びの基礎となる知識の修得と倫理感を育成する教育を行います。</p> <p>3. 専門教育科目 専門教育科目は、「社会科学系」と「情報科学系」「データサイエンス系」を軸に編成されています。情報メディア専攻では、社会科学系の科目を中心に、ICT社会について、コミュニケーション、メディア、マーケティングなどの視点から学ぶとともに、ICT社会を、コンピュータ、プログラミングなどの情報科学と、統計学、AIなどのデータサイエンスの視点からも掘り下げることによって、より深く理解していきます。情報サイエンス専攻では、情報科学系の科目を中心に、ICT社会の仕組みやICTに関する知識や技能を学ぶとともに、ICT社会を、コミュニケーション、メディア、マーケティングなどの社会科学と、統計学、AIなどのデータサイエンスの視点からも掘り下げることによって、より深く理解していきます。両専攻ともに、専門教育科目で学んだ知識、技術を統合していくために、「卒業研究」を必修科目として4年次に配置します。</p> <p>教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで科目間の順次性・体系性を担保します。また、開講科目に設定される知識と技術を修得し、それらを活用するための能力を育成するために、授業の形態は講義だけにとどまらず、学生を能動的な姿勢に導く教育手法を活用します。</p> <p>各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。また、卒業研究において学修成果の総括的評価を行います。</p>			<p>武庫川女子大学社会情報学部社会情報学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受け入れます。</p>		
<p>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目</p>			<p>MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目</p>			<p>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素</p>		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	社会の事象を社会科学・情報科学・データサイエンスの視点から理解するために必要な知識と思考力を有している。	知識	社会を理解し、社会情報学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。		
	2	“生きること”につながる専門性	2	ICT社会を生き抜くために、ソーシャルネットワークを活用するためのコミュニケーションやプレゼンテーションに関する技術、情報を加工・分析するための技術、社会における様々なデータを収集し、数理的なアプローチからデータを分析する技術を有している。		文系・理系という枠にとらわれず、高等学校等において幅広い教科・科目を履修し、確かな基礎知識を備えている。		
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	高度に情報化された社会の中で、自分を尊重するとともに、相手の存在価値を認めていく姿勢を身につけている。	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。		
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	ICT社会の課題解決に向けて、試行錯誤を繰り返しながら次の一步を踏み出し、生涯にわたって自分のキャリアを開拓しつつ、学ぶ姿勢を身につけている。		ICT社会におけるデータの活用や情報技術に多角的な視点から興味や関心を持ち、社会への深い洞察力と多様なメディアを使いこなす技能を習得する能力の基盤を有している。		
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	目の前に出現したさまざまな困難を乗り越えていくために、冷静にかつ柔軟に物事をとらえることができるしなやかな姿勢を身につけている。		情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている。		
行動	6	論理的に考え伝える力	6	社会科学・情報科学・データサイエンスの観点から身につけた専門的な知識や技能から、ICT社会の課題を論理的に分析し、問題を解決する能力と伝える力を有している。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。		
	7	新たな価値を創造する力	7	文理にわたる専門的知識・技術の統合を図り、ICT社会において、新しい価値を創出できる能力を修得している。		豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。		
	8	多様な人々と協働する力	8	ICT社会における課題を自ら発見し、他人との協働を通して解決しようとする積極的な態度を修得している。				